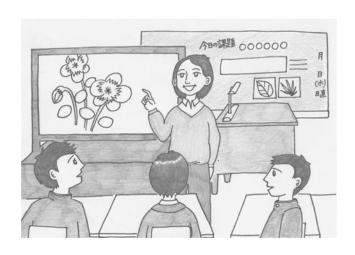
平成 25 年度 川崎市立小中学校 学習状況調査報告 (概要)



◎ 調査の概要

1. 調査の目的

全市的な規模で児童生徒の学習状況を調査することにより、学習指導上の問題点及び改善点を明らかにする。その結果を、各学校においては、今後の学習指導法の改善や教育課程編成の工夫等、児童の基礎学力の向上に役立てる。

〈小学校学習状況調査〉

- 2. 調査の内容
 - ○国語・算数
 - ○学習意識調査(生活や学習についてのアンケート)
- 3. 調査の対象

市内全市立小学校の第5学年の児童

- 4. 調査実施日及び調査対象教科・人数
 - (1) 調査実施日 平成25年5月14日(火)
 - (2) 調查対象教科·人数 小学校第5学年

国語 11,433 人 算数 11,432 人 生活や学習についてのアンケート 11,438 人

〈中学校学習状況調査〉

- 2. 調査の内容
 - ○国語・社会・数学・理科・英語
 - ○学習意識調査(生活や学習についてのアンケート)

第2学年の生徒を対象とする調査を実施した。

3. 調査の対象

市内全市立中学校の全学年の生徒

- 4. 調査実施日及び調査対象人数
 - (1) 調査実施日 平成 25 年 11 月 6 日 (水)
 - (2) 調査対象人数

中学校第1学年 9,672人 中学校第2学年8,793人 中学校第3学年9,631人 生活や学習についてのアンケート8,782人

1. 出題・観点等一覧

の扱の対容を制定取 の貼すこと・関へ る の選手をIRC: の活動に配置 の分類に配置 の分類に配置 の分類に配置 の分類に配置
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
②漢字左[長亡] ②伝統69公言 [
の成分が記載した。 の位別がな事業を行うとは の体質に関す の体質に関す を事項 の表すを書く
の伝統がよ言
の活動に関す 心帯点 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
●●漢字を書く
(を)十七十八日
第二千年配当漢十名書へ「とかってきつ。
●● 第三学年配当漢字老書くことができる
◎ 主語・法語の場所を理解している
⑥ 食主業の学習 協反給がな言 指係語の役割を理解している
○ 公社費に関す 国路辞典を利用して関へることができる る事項
_
機面の備子や動場人物の気持ちを設立を動い器像して 様れにどができる。
● 物間の内容を読み のほむこと 教法を参い、聖場人物の実治ちを張み取ることができ取る取る な。
文章を核んで考えたことを発表し合い、 <u>3</u> 1、の速じ方や 考え方の違いに製付くことができる。
●■ ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
中心となる語や文堂とらえて、投稿相互の関係を考え文 章を表してかできる。
の成むこと 目的にむて、経路相互の関係を考えて文章を探むこと ができる。
◎ 関約に応じて、確か、必可を要がすることのできる。
-
◎ 毎年低の★カナギか ゆ者へこ ・ 年低の★カガニ必要は事情や場下を理解している。
自分の経験に扱ういて扱いたり考えたりしたことから、 単に各く事件を決めることができる。
0
「その本みのどのようなところが好きなのか」に ⑤ (その本みのどのようなところが好きなのか」に ⑤ (その本みのどのようなところが好きなのか)に ⑥ (まのようなところが好きなのか)に ⑥ (まのようなところが好きなのか)に ⑥ (まのようなところが好きなのか)に ⑥ (まのようなところが好きなのか)に ⑥ (まのようなところが好きなのか)に ⑥ (まのようなどところが好きなのか)に ⑥ (まのようなどところが好きなん)に ⑥ (まのようなどところが好きなん)に ⑥ (まのようなどところが好きなん)に ◎ (まのようなどと)に (まのよんなどと)に (まのようなどと)に (まのよんなどと)に (まのよんなどと)に (まのなどと)に (まのよんなどと)に (まのよんなどと)に (まのよんなどと)に (まのよんなどと)に (まのよんなどと)に (まのよんなどと)に (まのよんなどと)に (まの

国語 問5(5) (報告書 P.17, 問題 P.8参照)

〇 出題のねらい

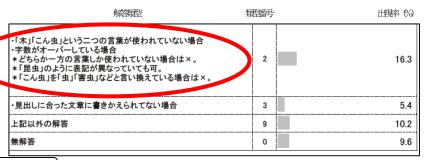
目的に応じて、細かい点に注意して文章を読み、内容を要約することができる。

キツツキは森の木のお医者さん!	③ 「キツツキは、」に続くように二十五字以内でまとの 『キツツキは、」に続くように二十五字以内でまとて書きましょう。	② 「木」と「こん虫」という二つの言葉を必ず使っ① 見出しに合った記事になるようにしましょう。	〈注意する点〉	うかいする新聞記事を書きました。次の点に注意し(5) この文章を読んだ児童が、キツツキの働きをしょ	7
-----------------	--	---	---------	---	---

昨年度出題したコスモスの花が咲かなかった理由を理解し、指示された条件に従ってまとめて書くことを求めた設問の正答率は低く、42.4%であった。

キツツキの働きを紹介する新聞記事を書くという言語活動を想定し、内容を理解して要約する力を問う問題を、今年度も出題することにした。

〇 授業改善に向けて



必要な情報を読み取った上で、分かったことを条件に合わせて文章を書くことに課題があることが、全国学力・学習状況調査の結果の分析で指摘されている。

誤答からの分析

目的に応じて、細かい点に注意して文章を読み、内容を要約する<u>本設問の正答率は</u> 58.4%であった。

誤答の原因としては、字数の超過や、「木」「こん虫」という二つの言葉が使われていないなど、<u>問題の指示に従って書くことができない</u>ということがあった。設問で示されている条件の理解が十分ではないことも考えられる。

説明的な文章では、文章を読む目的に応じて中心となる語や文を捉えるような学習を工夫することが今後の課題である。読む目的によって本や文章の活用の仕方が変わり、そのため取り上げる中心となる語や文も変化してくることを意識しながら、内容を整理していく指導が必要である。要約する目的を明確にし、分量や時間、元の文章の構成や表現の生かし方などを考え、要点や細かい点に注意しながら要約する学習経験を重ねていきたい。

何のために要約するのかという目的を明確にすることが大切である。「読むこと」の学習において、子どもにとっての課題解決の過程、つまり「単元を貫く言語活動」を明確に位置付けることにより、主体的な思考や判断を促す授業づくりを一層進めていく。

1. 出題·観点等一覧

K	響	E	MERCIN		4.8		18.00		PRESERVANTE	90.00	- I who will	MACTED SECTION AND ADDRESS.	1.00	
	**	*	湖井	野選	(選択式→書号, 記述式→言葉)	数学的な考え方	接聽	建新-棚 原	HILL CORE	Ĕ	ACAPONED .	亚 米尔根如十	E84	
	(1)			4	5.91		0			2 14	小野地二位までの小野の起注ができる			74.5
	(2)			⋪	81.22		0		1/数のだし集、ひ子集	10717484	小教第二位までの小教の選集ができる	44 A(5) 4		612
	(3)			< < < < <	26		0		小社と独裁のかけ	ABICIL B	(小数)×(11)た)の憲法ができる	4000000		93.1
	(4)	3		∢	1.75		0		第、わり第		(機能)+ (機能)のわり進む解決ができる	44A(0):0		87.8
	(2)			4	37		0		がなが	D熱量開達	四月進合計算ができる	4年0(2)7		51.4
	(9)			<¤	2 2/5 \$75\$ 12/5		0		分数のたし第、ひき算	ARCHE	帯分散をふ(む間分母分散の加法ができる	44 A(6) 4		75.9
				∢	B(本とれて、)1.4(cmあまる)		0	0	小型と整数のわけ	A酰化甘草	(小東)+(11た)の乗りのある株字の適用問題ができる	4年A(5)ウ		41.0
	3			*	11			0			分数が単位分数のいくつ分かで表せることがわかる			71.1
	(2)			₩	1 1/3 または 4/3			0	分鼓の大きさ	A数と計算	テープ国に示された分散をよみとることができる	4年A(6)		572
	(3)			∢	17/5(>)3(>)2 4/5(完客)			0			分数の大小がわか以仮分割・等分数・整数を大小弾に並べる ことができる			689
4			₩		8		0	0	大きな駐	A鼓と計算	位取り記事法を理解し、ほより大きい策を表すことができる	4年A(1)ア		82.3
	(1)			₩	69000 \$754 \$169000		0	0	487 1244		四鈴五入を理解し上から2リたの概象で表すことができる	44A(2)4		67.1
0	(2)			4	349	0		0	77.25	MARCHA	「以上」「以下」の集除がわかり服装に対応する数の範囲がわ かる	4年A(2)ア,イ		38.6
9			1	×	(左から) -, ×	0	0		対と呼ば	0数量間達	計算原序に関する文章問題を式に表すことができる	4年0(2)ア		32.7
1		1.8	⋪		4	0	0		式化計算	D於量問題	四柄選合計算の仕方がわかり設定された式になる問題を選 訳できる	4年0(2)7		70.8
80			₩		4	0	0	0	がけず、わり草	A酰化計算	信とわり第の問題を図に表すことができる	44 A(3) 7		63.2
0				4x	100 または (72+28)		0	0	対と計算	D数量器链	計算のきまりを理解している	4年0(3)7		64.9
0		100	×		1.	0			£	B量と測定	180° より大きい角のくふうした本の方がわかる	4年B(2)ア,イ		77.6
	(1)		₩		2			0	-	0	面後の大きおこついての歴覚を身に付けている	4年B(1)ア		21.4
=	(2)	1		×	(天)8×8 (=54) (香え)54(貞)		0	0	BOIX	PECMIE	正方形の間候を求めることができる	4年B(1)ア,イ		73.B
12	3	448		⋴	等(辺の最きが7cmと4cmの平行四辺形)		0	0		CENT	平行四辺形の仲国ができる	4年C(1)イ		66.5
	(1)			⋴	イ,エ(峰不同、完答)			0	垂直、平行と四角形	MEN	四角形の辺の長さの性質がわかる	7(1)/3		79.5
2	(2)			4	う,エ()順不同、完客)	0		0			四角形の対角はの住実がわかる	10 m		59.3
	3			₩	1			0	****	ABO	速方体の異類図がわかる	,		52.6
4	(2)			∢	(団)い、(団)か、(団)え、(団)お(県不同)			0	*171*	CIENT	語方件の間に参議な問がわかる	4±0(2) 7,1		75.8
15	3			*	O×4(=Δ)ξ/d34×O(=Δ)	0	0	0	案わり方	DEX量的的主	何って実わるニつの教皇の関係を式に表すことができる	4年0(2)ウ		59.9
	3			⋪	14分後		0	0			折れ様グラフから中間値をよみ取ることができる			66.2
	(2)			*	2		0	0	24.5	A	折れ続グラフからニつの数全の変化をよみ取って, 職業に合うグラフを判断している	ACTIVITY		31.6
0	100	選択	₩		4		0	0	W(1#32)	Detailor	折れ線グラフを用いると、何って実わるニつの教室の変化の 種子をわかりやすく表すことができることを理解している	440(4)4		84.3
100	(3)	1000		4x	グラフの特徴をもしこ説明できている	0		0			折れ味グラフの変化の何報を見いたし、具体的な事業と指び 付けて考え、理由を説明することができる			76.2
	3			⋴	8×8-3×8(=46) 8×8(=64),3×6(=18), 64-18(=46) 64-18(=46)	0	0	0			彼ら因形の凶侯のよめ方を考え。式に表すことができる			59.7
7	8	nis P		⋪	の国に独を書き込み、Som x Bom、3om x 3om で国鉄が 求められるかのあまる場に分がている。 ので表す形がたとらえたこを投弾している。 の回野をラフリックリルとこを指揮している。	•	0	0	经 间	四種の	集合国務の国徒のよかなもぞえ 以明することができる	4年B(1)ア,イ		ري ري

算数 問 16(2) (報告書 P.44, 問題 P.11,12 参照)

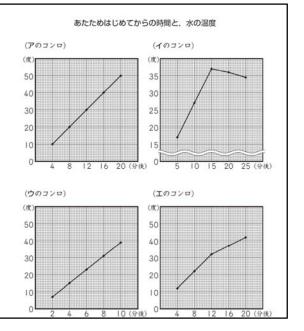
○ 出題のねらい

折れ線グラフから二つの数量をよみ取って、題意に合うグラフを判断できる

(2) この実験と同じ量の | 5度の水を、5分間で35度にするには、どのコンロを使えばよいでしょうか。グラフから読みとり、ア、イ、ウ、エから | つ選んで答えましょう。

知識や技能を活用すること求められている。コンロで水をあたためたときの温度を記録したグラフから適切な情報を読み取り、問題文に合うグラフを判断する問題を出題した。

正答率 ウ31.6% ア6.8% イ37.7% エ14.0%



○授業改善に向けて

グラフから 2 つの数量の変化を読み取って、問題文に合うグラフを判断するこの問題の正答率は、31.6%であった。今年度、初めてグラフから適切な情報を読み取る問題として出題したが、課題が残る結果となった。グラフ上に 15 度、35 度という数値が示されているイを選んだ誤答が 37.7%あることから、問題場面とグラフを関連付けられずに解答していることが考えられる。グラフから 15 度や 35 度などの数値の読み取り、時間と温度の関係を正しく捉えることが課題となっている。また、問題文にある「15 度の水を、5 分間で35 度にする」を「水の温度を5分間で20 度上げる」などと理解する力を育てていく必要がある。指導に当たっては、グラフの特徴を捉えて、具体的な場面と関連付けるときには、グラフの変化の様子を読み取るとともに、数値にも着目させ、理由を言葉、式、図、表、グラフなどで表現させる指導を充実させていきたい。

授業改善につなげるため、 研究会と連携として夏季 研修会などで取り上げる。 グラフから適切な情報を 読み取ることは、今後の学 習においても重要である。

1. 小問別の問題内容と結果正答率 [国語第2学年]

	番号小問	87	競点	言	問題の内容	出題のねらい	正答率(%)		無答率	
3	7	0				インタビューするときの工夫を理解できるか。		37	1	
	11	0				内容の理解、把握ができるか。		97		
1	2	0			A 聞き取り (インタビュー)	内容の理解、把握ができるか。		94	*	
	3	0		10	(1)/[1]	内容の理解、把握ができるか。		97		
	ゥ	0	1			話題の内容をとらえて聞くことができるか。		95		
	ア1			0		既習の漢字について読字ができるか。		67	1	
	2			0		既習の漢字について読字ができるか。		67		
-	3			0	B 漢字の読み	既習の漢字について読字ができるか。		94	4	
	4			0				80	1	
	5			0				19		
	11			0		既習の漢字について書字ができるか。		39	1	
2	2		1	0		既習の漢字について書字ができるか。		58		
	3				C 漢字の書き	既習の漢字について書字ができるか。		32		
	4		+	0		既習の漢字について書字ができるか。		45		
	5		-	0		既習の漢字について書字ができるか。		42		
	ゥ			0		単語の種類(自立語)が理解できるか。		38		
1	I		1		D 言葉に関する			67		
	+		-	0	知識	熟語の構成が理解できるか。		57		
	7		0	9		表現技法が理解できるか。		65		
-			-	-		表現技法が理解できるか。		56		
3	1		0					72	-	
	ウA		0		E 短歌の鑑賞	内容理解と的確な鑑賞ができるか。		56	-	
	В		0	-		内容理解と的確な鑑賞ができるか。		74	-	
	С		0			内容理解と的確な鑑賞ができるか。		87	-	
-	D		0	_		内容理解と的確な鑑賞ができるか。			-	
	1	7		0			登場人物の心情を読み取ることができるか。		92	-
	1	3	0		F 文学的文章 の読み取り	内容の理解、把握ができるか。		83	-	
	ゥ		0			内容の理解、把握ができるか。		81	-	
4	I		0			登場人物の心情を読み取ることができるか。		92	-	
	オ		0			登場人物の心情を読み取ることができるか。		67		
	カ	. 1	0			内容の理解、把握ができるか。		85		
	+		0			内容の理解、把握ができるか。	Sales Control Control Control	63	L	
	ク		0			人物像を正しく把握できるか。		87	L	
	7		0			内容の理解、把握ができるか。	planta White and	65		
	1		0			段落相互の関係が理解できるか。		47		
	ゥ		0			内容の理解、把握ができるか。		47		
	I		0		G 説明的文章	内容の理解、把握ができるか。		90		
5	オ		0		の読み取り	内容の理解、把握ができるか。		63		
	カ		0	ST		内容の理解、把握ができるか。		78		
	+		0			内容の理解、把握ができるか。		52		
	2		0			要旨が把握できるか。		41		
	7			0		地の文と会話文を識別できるか。		36		
	1			0		歴史的仮名遣いを正しく理解しているか。		89		
6	ゥ		+	-	H 古文の読解	内容の理解、把握ができるか。		76	-	
	., т		-	-	II LAVIEN			54	-	
	-	15		0		内容の理解、把握ができるか。		-1	-	

◎…主たる観点 ○…従たる観点

国語 2年 問5-ク (報告書 P.16, 問題 P.155 参照)

〇 出題のねらい

要旨を把握することができる。

文章の解釈とは、文や文章に書かれた内容を理解し意味付けることである。要旨を把握する力を身に付けることは、読み手が自分の目的や意図に応じて考えをまとめたり深めたりしていくための基盤となる。

今年度は目的や必要に応じて情報を選択し整理する記述式の問題を、各学年において初めて出題することにした。

〇 授業改善に向けて

小問

正答

正答率 無答率 条件を満たしていない解答の配点 出現率 (%)

			7111		
þ	画面に余計なものを写さず主題を強調する撮り方で、足し算とは主題に照準を合わせながら、これからファインダーの中に入ってくるものを予測しながら	34	17	0点 1点 2点	36 10 3
					■ 誤答からの分析

要旨を捉え、条件を踏まえながらまとめる本設問の正答率は34%と低く、出された条件を満たせない解答も見られた。13%の生徒は必要な語句の捉えが十分ではなく、36%の生徒は答える努力はしたものの、条件である1~3を満たしていなかった。無答率が17%と高かったことの要因と同様に、条件に合わせて書くことに慣れていないことが考えられる。

まず、文章の要旨を把握し、そのうえで条件を満たすように 記述することを段階的に指導していく必要がある。なお、「読 むこと」における「内容や要旨を的確に捉える能力」とは、文 章全体を概括したり、細部の表現に注意したりしながら読むこ とだけではなく、文章の内容について自分の考えをもつことを 含んでいることを踏まえて指導することが大切である。

説明的な文章を読む力は国語科のみならず各教科等の学習の基本ともなる能力である。国語科の学習では、社会生活で触れることになる図表を効果的に用いた文章など、<u>内容、形態と</u>もに多様な種類の文章を扱うことに心がけていきたい。

さい。ただし、 【条件】 次の条件を満たすように答えること 者が述べている 書き出し、書き終わりの言葉を 点()も 文で書き、 とするこ 「引き算 書き出しは Ł 引き算とは」 一足し算 とはそれぞれどのような撮り方かまとめな 六十字以上、 とし、 書き終わりは 七十字以内で書 撮る方法で

と「足し算」

の両

方に

という言葉を使うこと

文章の構成や表現の特徴につきることが、全国学力・ とが、全国学力・ はおれている。

目的に応じて必要な情報を収集する力を身に付けるために、実生活における様々な文章を取り上げた実践事例を参考にする。

1. 小問別の問題内容と結果正答率 [社会第2学年]

問題	番号		観点		00 EV - 1 -			
大問	小問	思	技	知	問題の内容	出題のねらい	正答率(%)	無答
	(ア)	0		0		南北朝の内乱の影響について、正しく理解し、適切に判断できるかを問う。		36
	(1)		0	0		民衆の成長について、資料を読み取り、適切に判断できるかを問う。		22
	(ウ)	0	0			下剋上の動きについて、内容を理解し、資料を読み取り適切に判断できるかを問う。		41 2
1	(I)		0	0	中世の日本の政治と社会	建武の新政について、資料を読み取り、適切に判断できるかを問う。		48
	(才)			0	ALC LA	足利尊氏の業績について、正しく理解しているかを問う。		57
	(カ)		0			中世の村の様子について、資料を正しく読み取ることができるかを問う。		55
	(+)	0	0			中世の政治と社会について、資料を総合的に読み取り、適切に判断できるかを問う。		55
	(ア)	0	0			中世の国際関係の変化について、資料を読み取り、適切に判断できるかを問う。		41
1	(1)	0	3	0		キリスト教の伝来について、宗教政策の変化を正しく理解しているかを問う。		38-
	(ウ)	0			中世から近代	近世の国際関係について、正しく理解し、図で表すことができるかを問う。	macasan smel	42
2	(I)	0			の日本と世界の 様子	幕末の政治の動きについて、国際関係との関わりの中で理解しているかを問う。		47
	(オ)		0	0		新航路の発見について、正しく理解し、略地図で示すことができるかを問う。		33
	(カ)	0		0		欧米の近代化とそのアジアへの影響について、正しく理解しているかを問う。		59
	(ア)			0		徳川綱吉の政治について、文治政治への転換を正しく理解しているかを問う。		40
	(1)			0		江戸幕府の全国支配について、大名統制の内容を正しく理解しているのかを問う。		61
3	(ウ)	0			近世の政治と社	江戸幕府の改革について、内容を正しく理解し適切に判断できるかを問う。		52
	(I)	0	0		会	江戸幕府の財政について、資料を読み取り、正しく判断できるかを問う。		68
	(才)	0	0	1		近世の身分制社会の確立について、資料をもとに正しく判断し、表現できるかを問う。		20 3
	(ア)		-	ol		室町文化について、代表作品と禅宗の影響を正しく理解し、資料から読み取れるかを問う。		74
	(1)	2	-	_	## L'E###	株山文化について、代表作品や大名の影響を正く、理解し、資料から読み取れるかを問う。		19
4	(ウ)		0		中世と近世の文 化	化政文化が発達した背景を、資料を読み取り、正しく理解しているかを問う。		62
	(I)	0	-	0		江戸時代の文化の特色について、資料をもとに考え、正しく判断できるかを問う。		49
-	(ア)	0		4	世界の諸地域(オセアニア州)	オセアニアの自然災害について、正しく判断しているかを問う。		66
	(1)	9		0		オーストラリアで多く飼育されている家畜について、正しく理解しているかを問う。	4	75
1	(ウ)		0	-				69
5	(I)	0	0	-		オーストラリアの貿易相手国の変遷について、資料を正しく読み取ることができるかを問う。		54
-	(才)	-	0	-		オーストラリアの気候について、資料を活用し、正しく判断しているかを問う。		42
-	(カ)	-	0	-		オーストラリアで産出される鉱産資源について、グラフを正しく読み取り、判断しているかを問う。 オーストラリアの移民の変遷について、資料を正しく読み取ることができるかを問う。		60
-	(+)		-	0				50
		0	-	4		オーストラリアの先住民について、正しく理解しているかを問う。		
-	(P)	0	-	0		世界から見た日本の位置について、正しく理解し判断しているかを問う。		69
6	(1)		-	-	日本の地域構	極東の意味を正しく理解しているかを問う。		60
0	(ウ)		-		日本の地域構 成	時差の求め方について正しく理解し、読み取ることができるかを問う。		58
1	(I)	0	0	-		排他的経済水域について、資料を活用し、適切に表現できるかを問う。 		21 3
-	(才)	-	-	9		東北地方の県の位置、県名と県庁所在地名を正しく理解しているかを問う。		50
8.	(F)	-	0	-		日本の河川の特徴を、資料から正しく読み取ることができるかを問う。		76
-	(1)	-	-	9	J. 1.	資料からリアス海岸を正しく理解しているかを問う。		68 1
1	(ウ)		-	9		日本の付近を流れる海流について、正しく理解しているかを問う。		51
		-	0	-	集々な面からと	日本の人口の移り変わりを、資料から正しく読み取ることができるかを問う。		26
7	(才)	-	0	-	えた日本	日本の農業について、資料を読み取ることができるかを問う。		55
-	(力)	-	0	+		加工貿易について、その特徴を正しく理解しているかを問う。		36 3
-	(+)	-		9		第3次産業の内容について、正しく理解しているかを問う。		67
1	(ク)	-	0			日本と世界の結びつきについて、資料から正しく読み取ることができるかを問う。		57
	(ケ)		0			日本の航空、海上輸送の特徴を、資料から正しく読み取ることができるかを問う。		62
	(ア)		0	2		日本の南西諸島の気候を理解し、正しい資料を選択することができるかを問う。		66
	(1)		0			台風の上陸数の特徴を、資料から正しく読み取ることができるかを問う。		67
	(ウ)	0	0			九州地方と外国との結びつきについて、正しく判断しているかを問う。		69
В	(工)	0	0		日本の諸地域 (自然環境)	北九州工業地帯の変化を、地図から読み取り、正しく判断しているかを問う。		49
-	(才)		0	1		九州地方の農業について、資料から正しく読み取ることができるかを問う。		65
1	(カ)	0	0		1 St. 10 - 47 .	資料を活用し、シラスの分布を正しく判断しているかを問う。		61
-	(+)	0	0		100 Services 1 12 Services	3つの資料から、沖縄の農業の現状について、正しく判断しているかを問う。		73

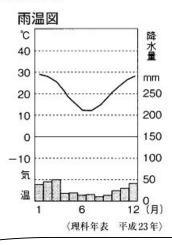
◎…主たる観点 ○…従たる観点

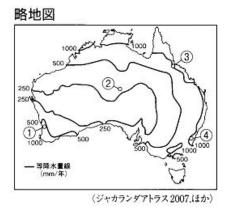
社会 2年 問5(工) (報告書 P.49, 問題 P.187 参照)

〇出題のねらい

オーストラリアの気候について、資料を読み取る技能を活用し、正しく判断することができる。

(工)下線@について、つぎの雨温図の都市の場所を、下の略地図中の①~④から1つ選び、番号で答えなさい。





「資料活用の技能」と「社会的な思考力・判断力・表現力」を結びつけた問題。身に付けた技能を活用して必要な情報を収集し、それをもとに思考し、適切に判断できる力を育成することが求められているので、全学年において身に付けた技能を活用して考える問題を出題した。 2年生では、2つの資料を組み合わせて必要な情報を整理し、考察することで該当する地点を明らかにする問題を作成した。 正答率②54% 誤答:①16% ③15% ④14%

○授業改善に向けて

今回例に挙げた 2 年生地理的分野の問題で考えると、誤答である①、③、④を選択した生徒の割合がほぼ均等に分布している。このことから、約半数の生徒がこの問題を解く手がかりを見付けられずに、どのように対応してよいかわからない状態にあったのではないかということが読み取れる。

様々な資料を調べて基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して 課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むためには、「調べて考える 活動」や「考えながら調べる活動」を授業の中にしっかりと位置付けて、自分達が獲得 した情報(知識)を比較したり、関連付けたり、総合したりして課題を解決していく経験を 積み重ねることが効果的である。このような学習を充実させるためには、これまで川崎 の中学校社会科が大事にしてきた「単元を貫く課題」を軸に協働的に課題解決学習に取 り組み、「獲得させたい認識」の実現を図るという取組のより一層の充実が求められる。

研究部会と連携を図り、教育課程研究会、実践事例集、研究推進校の実践や地区授業研究会等と連動した取組の充実を図り、授業改善の視点及び方策の共有を図る。

「知識の構造化」「単元構成の工夫」「自 分の言葉でまとめる活動の充実」といっ たこれまでの教科研究の成果を確認しな がら実践を積み重ねていく。

1. 小問別の問題内容と結果正答率 [数学第2学年]

問題	番号	7.5	観点					
大問	小問	考	技	知	問題の内容	出題のねらい	正答率(%)	無答耳
	1		0			同類項が正しくまとめられているか	83	2
	2		0		A 文字式の計	展開公式が正しく使え、同類項が正しくまとめられているか	81	3
1	3		0		算	単項式の乗除の計算が正しく出来ているか	55	12
	4		0			展開公式が正しく使え、同類項が正しくまとめられているか	49	15
	1		0		B 等式の変形・	ある文字について解くことが正しく出来るか	59	16
2	2		0	E	式の値	文字式を計算してから正しく代入した値を求められているか	51	17
	1	8	0			加減法を用いて正しく求められているか	83	5
3	2	N.	0		C 連立方程式 の解法	代入法を用いて正しく求められているか	66	13
	3		0			xかyの係数をそろえ、加減法を用いて正しく求められているか	69	10
	1		0			求める回数を正しく求められているか	77	5
4	②上	0			D 連立方程式 の応用	回数に関する方程式を正しく求められているか	76	11
	下	0				枚数に関する方程式を正しく求められているか	71	13
	1	0			E 比例·反比例	表から正しい式とグラフを求められているか	35	4
5	2		0			反比例の式を正しく求められているか	32	25
	1	18		0		各立体の体積を正しく求められているか	56	1
6	2		9	0	F空間図形·平 面図形	投影図と見取り図の関係を正しく理解しているか	85	2
	3		0			対称移動の内容を正しく理解しているか	60	9
	1		0		G 平行線と角・	三角形の内角と外角、折り返しの性質を理解しているか	23	10
7	2	4	0		多角形の角	多角形の内角の内容を理解しているか	47	16
	1	0			H 三角形の合	平行線の錯角の性質を理解しているか	50	11
8	2	0			同	三角形の合同条件を正しく理解しているか	56	14
	1			0	I ANN ASS	ヒストグラムから分かることを理解しているか	68	2
9	2			0	I資料の活用	2つのグラフの傾向を正しく読み取ることができるか	51	2
	1	0			. SER REAL TO	与えられた情報から推論・比較することができるか	73	3
10	2	0		-	J 課題学習	数学的な表現を用いて、自分の考えを述べることができるか	31	7

数学 2年問10 (報告書 P.69, 問題 P.215参照)

〇出題のねらい

数学的な表現を用いて、自分の考えを述べることができる。

【表】夏休み中の1日あたりのテレビの視聴時間と学習時間

1日あた	こりのテレビの	1171	1 H a	あたりの学習	時間
1	鬼聽時間	人数	1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上
0分以	上~30分 未満	1	0	1	0
30分	~1時間	1	1	0	0
	~1時間30分	16	7	3	6
1時間30分	~2時間	3	1	0	2
2時間	~2時間30分	5	1	2	2
2時間30分	~3時間	4	0	2	2
3時間	~3時間30分	0	0	0	0
3時間30分	~485间	0	0	0	0
4時前	~4時間30分	2	1	0	1
4時間30分	~5時間	3	1	0	2
	合計	35	12	8	15

② Aさんは、このクラスのテレビの視聴時間の平均が約2時間2分ということを知って、 次 のように言っています。



私の1日あたりのテレビの視聴時間は1時間50分なので、このクラスでは短い方だわ。

Aさんの言っていることは、荒しいか、荒しくないか解答欄に○をつけなさい。 また、その理由を書きなさい。

「資料の活用」領域の指導が、知識や技能だけの指導に偏ることが懸念されていることから、活用に関する問題として、1~3年生で「資料の活用」領域の問題を出題した。 2年生では、平均値から判断した事柄について、理由を説明する問題として出題した。 正答率31%、無答率7%。

○授業改善に向けて

資料を<u>柔軟に読み取っている</u>生徒が多いように感じる。しかし、一部の情報のみで判断し、 資料全体の特徴を把握していない傾向が強い。資料を読み取り、いろいろな情報を含めた<u>意見</u> を述べられるような指導が必要である。

「資料の活用」の授業では、身のまわりにある事象について、習得した知識や技能を活用して、日常生活の課題を解決し、表現し、説明することを大切にしたい。いくつかの情報から必要な情報を取り出しその傾向をとらえてことができるようにさせたい。その際に、度数分布表やヒストグラムの階級の幅を変えて新たな発見を実感させたり、資料の平均値、代表値、範囲等からの考察を扱ったり、割合を考えることが有効的だと気づかせたりといったヒストグラムを活用するように授業展開を工夫したい。

授業改善につなげるため、 「資料の活用」領域を事例 集で取り上げる ヒストグラムから分かる ことを説明する指導は、全 国でも課題となっている

1. 小問別の問題内容と結果正答率 [理科第2学年]

	番号小問		観点 技		問題の内容	出題のねらい	正答率(%)		無答
7	а		0		J. P. Wills	ガスパーナーの使い方を理解しているか。		62	
	b			0		燃えて二酸化炭素を発生させる物質について理解しているか。		60	-
1	c			0		金属の性質を理解しているか。		27	1
	d		0		①物質のすが	メスシリンダーの読み方を理解しているか。		76	
	e	0			<i>†</i> =	算出した密度と密度表を結びつけて、物質を分類することができるか。		76	
	а			0		いろいろな気体の発生方法を理解しているか。		13	(1)
2	Ь			0		水上置換法で集められる気体について理解しているか。		50	
	С		0			塩素やアンモニアの扱い方を理解しているか。		77	1
	а		0			物質が水に溶けているようすを理解しているか。		45	
3	Ь			0	②水溶液の性質	質量パーセント濃度について、立式し計算することができるか。		42	
	С	0	4			溶解度について理解しているか。		44	
4	a	0			③状態変化	状態変化での体積の変化と質量の変化について理解しているか。		52	Γ
•	b	0	1		◎4人思爱16	蒸留によって分離できた物質について理解しているか。		59	Г
	a		0			回路図を、電気用図記号を使って書き表すことができるか。		44	Γ
5	Ь		0		④電流	電流と電圧の測定値を、グラフに表すことができるか。		41	Г
•	С	0			一 电加	直列回路の電圧と電流の値から、合成抵抗値を求めることができるか。		61	Г
	d	0				熱量の求め方を理解しているか。		38	
	a			0		静電気の規則性を理解しているか。		48	Γ
3	ь	0			⑤電流の性質	クルックス管の結果から、電流の正体を考えることができるか。		35	Γ
	С			0		金属中を流れる電流と電子の向きを理解しているか。		60	Γ
	а		0			コイルを流れる電流によって、発生する磁界の向きを理解しているか。	MANUFACTURE STATES	45	Γ
,	b	0			⑥電流とその はたらき	磁界中のコイルに電流を流すと、力がはたらくことを理解しているか。		53	Г
	С	0				コイル中の磁界を変化させると、電流が流れることを理解しているか。		40	Г
	a			0		結晶のつくりから、火成岩の組織の違いを理解しているか。		33	Γ
8	ь				⑦大地が火を ふく	結晶のつくりから、火山岩と深成岩の組織の違いがどのようにしてできるのか理 解しているか。		49	
	С	0				火山噴出物の色からマグマのねばりけと関連付けて、火山の形を推測すること ができるか。		48	
9	a			0		地震の原因として、日本付近のブレートと地表の様子から、ブレートが一定方向に動いていることを理解しているか。		73	
+	Ь		-	0	⑧大地がゆれ	土地の変化について、断層を理解しているか。		43	H
-	a	0		-	3	地震計の記録から、初期微動継続時間を正しく読み取れるか。		63	H
0	Ь			0		ゆれの伝わる速さを推定できるか。		40	
	С	0				地震計の記録から、初期微動継続時間の長さが距離に関係していることを読み取れるか。		61	
1	a		-		⑨大地は語る	堆積岩の種類と特徴を理解しているか。		48	L
1	Ь			0		地層ができた時代や環境を推定することができる化石について理解しているか。		56	L
1	a		-	0	⑩生物の体を	植物細胞と動物細胞のつくりの共通点と相違点を見い出すことができるか。		72	L
2	Ь		0		つくる細胞	細胞の観察の操作を理解しているか。		42	
	С		-	0		多細胞生物の体の成り立ちについて理解しているか。		73	
	a		0			デンプンの分解の実験操作を理解しているか。		65	
3	b	0				ヒトの唾液のはたらきについて、実験の操作を通して理解しているか。		81	
-	С			0	M+A+##	消化酵素のはたらきについて、理解しているか。		60	L
1	d				⑪生命を維持 するはたらき	消化されたものが、柔毛のどこへ吸収されるのかを理解しているか。		48	L
	a			0		肺のつくりや細胞呼吸、血液のはたらきについて理解しているか。		43	
4	b	0				血液の循環について理解しているか。		33	
	С			0		じん臓のはたらき、排泄について理解しているか。		57	
	a	0			の感覚と運動	受け取られた刺激が、感覚神経、中枢神経、運動神経を介して反応する経路を 正しく理解しているか。		52	
5	ь				のしくみ	反射のしくみについて理解しているか。		62	
	С			0		中枢神経について理解しているか。		24	
6	a	0			⑬動物のなか	脊椎動物の特徴から仲間分けをすることができるか。		73	
"	ь	0	T		まと生物の進化	脊椎動物の特徴を理解しているか。	MERCHANICA CONTRACTOR	89	

理科 2年問3 (報告書 P.78, 問題 P.235 参照)

〇 出題のねらい

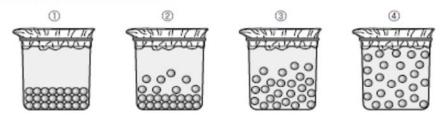
水溶液中で溶質が均一であることを、粒子のモデルと関連付けて理解しているか。また、水溶液中で溶質の質量が保存されていることを理解して水溶液の濃度を求めることができるかを問う。

物質を粒子の見方で考えるための基礎的・基本的な理解を問うており、日常生活等の場面で活用し得る知識・技能の習得状況を調査する問題である。

図1のように、水100gが入ったビー 実 カーに25gのショ糖を入れ、よくかき 混ぜたところ、すべてのショ糖がとけた。 その後、静かで温度変化の少ない場所 に置いて、1週間後に再度観察した。



a 実験Iで、1週間後の水溶液のようすを、モデルで表すとどのようになりますか。次の①~④ から1つ選び、その番号で答えなさい。



b 実験 I で、できた水溶液の質量パーセント濃度はいくらになりますか。求める計算式を次の ①~④から1つ選び、その番号で答えなさい。また、質量パーセント濃度を数字で答えなさい。

①
$$\frac{125}{25} \times 100$$
 ② $\frac{25}{125} \times 100$ ③ $\frac{25}{100} \times 100$ ④ $\frac{100}{25} \times 100$

- a 正答④ 正答率 38%、
- ①と答えた誤答 48%
- b 正答② 正答率 40%、
- ③と答えた誤答 36%

〇 授業改善に向けて

水溶液について、濃さはどこも同じという均一性について十分理解ができていない。小学校での既習内容であるが、日常生活において「重いものは下に沈む」「砂糖を入れた紅茶は下の方が甘い」などの印象をもとにして考えていると思われる。<u>色のついた水溶液がしばらく置いても色が変わらないことを実験で見いださせたい。</u>また、水に食塩を溶かしたとき、食塩の質量が保存されることが濃度計算の立式に生かされていない。濃度の計算は机上ではなく、<u>実験を行いながら質量の保存を実感して計算に取り組ませたい。</u>

授業改善につなげるため、体験と知識を結び付ける授業例を事例集で取り上げる。

子ども既有の考え方を理解して、科学的な見方・考え方に変容させる授業を意識したい。

1. 小問別の問題内容と結果正答率 [英語第2学年]

問題	番号		観点					
大問	小問	考	技	知	問題の内容	出題のねらい	正答率(%)	無答革
	a		0				91	1 1
1	Ь		0		A 会話文の組 み立て	絵を見て状況を判断し、場面にあった適切な応答を選択することができる。	76	6 1
	С		0				79	9 1
	1			0			60	11
	2			0		英文を読み取り、日本文にあった語を、与えられた最初の文字から判断し正し	44	1 19
2	3			0		い綴りで書くことができる。	37	7 26
	4			0			50	
	a			0	B 語彙の知識		72	-
	ь			0	- and second		62	-
3		-	-	0		会話文の内容を読みとり、それにあてはまる適切な語句を選択することができ		-
3	c	-	-	-	3.3	ა .	77	-
	d		-	0			68	-
	е			0			56	
	а	1		0			77	7 2
	Ь			0	0 H # 0 + -	The Theorem Control is the control of the control o	67	2
4	c			0	C 単語の並べ 替え	それぞれの語の意味と性質をつかみ、日本語に合うように文を組み立てることができる。文型による語順の違いを理解できる。	55	3
	d			0			44	3
	е			0			40	3
	а		0				70	1
	b		0		A 会話文の組	会話の流れに注意しながら、その選択肢の内容を十分に理解し、その場面に	74	1
5	С		0		み立て	あった対話を組み立てることができる。	53	1
	d		0				77	1
	a		0		a e se		70	-
6	ь		0		D 説明や対話	説明文や対話文やメールなどから正しく情報を読みとり、その流れを的確に判	78	-
	c		0			断して、質問に対する文や絵やグラフを選ぶことができる。	45	-
	A		0	-			65	-
	В		0	2	文の読み取り			-
-			-	-			70	-
7	С		0	_			64	
	D		0		BUT PARTY	り、語音の意味を記むとうだりずることができる。	45	3
	E左		0				48	5
	右		0				47	5
8	a	0				与えられた場面の中で、適切な表現を使って内容が相手に伝わるように、正しく	10	21
	b	0				書くことができる。	6	30
	1	0		0	F革作文		10	21
9	2	0		0	XIFX	 与えられた条件を満たすよう、ねらいに沿ってつながりのある文章を、正しく書く	19	39
9	3	0		0	F 英作文	ことができる。	13	28
	4	0		0			10	31
	a		0		Gリスニング	短い会話文を聞きとり、その内容を把握して、適切な絵を選択することができ	28	1
文送1	ь	1	0		(絵を選ぶ)	及い芸品又を聞きとり、その内容を把握して、適切な絵を選択することかできる。	73	-
	а		0	1			57	-
达 2	b		0		H リスニング (会話内容)	短い会話文を聞き、その内容に続く応答として適切な文章を選択することができる。		
		-		-			50	
(送3	a		0		G リスニング (絵を選ぶ)	会話文を聞き、その会話内容に対する質問の答えとなる適切な絵を選択することができる。	85	-
	b		0	-	17A E. AE (31)		78	-
送4	1		0		Hリスニング (会話中室)	まとまった長い英文を聞き、要点を押さえて理解したことを、日本語で記述でき	20	11
	2		0		(会話内容)	۵.	25	21

◎…主たる観点 ○…従たる観点

英語 2年間8 (報告書 P.97, 問題 P.275 参照)

〇 出題のねらい

与えられた場面の中で、適切な表現を内容が相手に伝わるように、正しく書くことができる。



この問題は実生活であり得る場面を絵で示し、その場面設定の条件内で自由に表現する条件英作文で、多様な正答があり得るオープンエンドの問題である。生徒が状況を判断し、学習した表現を用いて自由に回答する思考力や判断力を駆使する外国語表現(書くこと)の能力を診断する問題となっている。

昨年度の正答率は 57%、無答率は 14% で、本年度はそれぞれ、8%、25.5%となっていて、正答率は大きくさがり、無答率 が高くなっている。

○ 授業改善に向けて

問題	番号		観点					
大問	小問	考	技	知	問題の内容	出題のねらい	正答率(%)	無答率
0	a	0			英作文	与えられた場面の中で、適切な表現を使って内容が相手に伝わるように、正しく		10 21
0	ь	0				書くことができる。		6 30

どの学年も表現の能力を診断する英作文の正答率は低く、無答率が高い傾向がみられる。4技能のうち「書く」能力の育成が一番の課題であることがわかる。この形式の問題においては、2年生では、昨年度と比べ、正答率が低く、無答率も高い。その原因については、昨年度の問題において解答に必要のなかった、習熟に時間のかかる定冠詞の the や前置詞などの文法的な能力が要求され、ねらいにある「正しく書く」ことができなかったことが考えられる。また、単語のつづりが不正確であることも原因の一つと見られる。

しかしながら、実際の解答をみると意味が伝わる英文になっているものもあり、状況に 応じた表現を<u>何とか書いてみようという意欲も感じられ、自分なりに工夫をした解答がみ</u> られた。

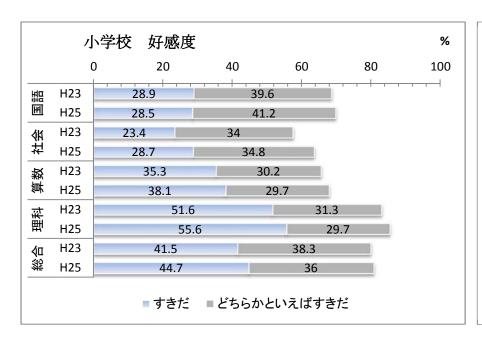
「書く」能力を高めるためには、まずは日頃から<u>自己表現英作文の時間を確保し、</u>自分がもっている知識を総動員して、<u>何とか表現してみようという意欲を育てたい</u>。正しい綴りや正確な文法で書くことについては、<u>仲間と書いた英文を比較検討したり、教員による</u>授業内での添削指導を充実させたりする時間を確保することが大切である。

また、短い英文から始め、徐々につながりのある文を増やし、豊かに表現することにも 留意させたい。そのためにも、<u>生徒が自ら表現したいと感じるような題材や多様な活動を</u> 工夫し、自分の考えや思いを英文で書く時間を確保していくことが重要である。

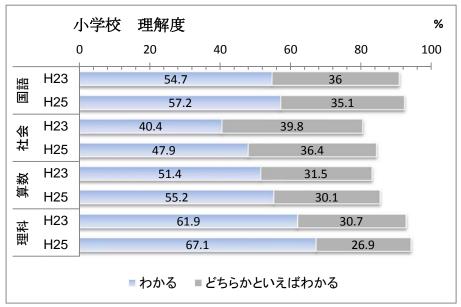
「状況を理解し、自分の考えや気持ちを書けるようにする」ことは全国でも課題となっている。

英語科研修会で、授業における効果的な「書くこと」の指導方法について研修、協議する。

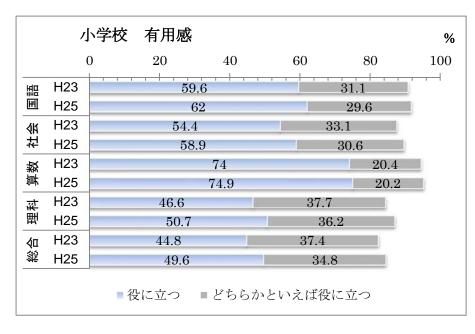
◎ 生活や学習についてのアンケート 好感度・理解度・有用感について



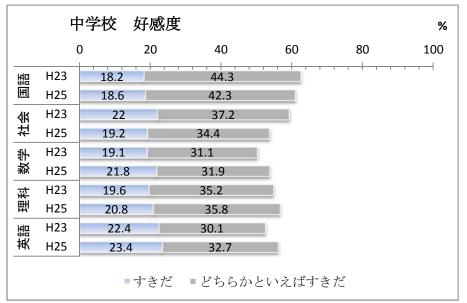
「好き」「どちらかといえば好き」と回答した児童は、国語 69.7%、社会 63.5%、算数 67.8%、理科 85.3%、総合 80.7%である。平成 23 年度と比較するとすべての教科等でポイントが高くなっている。特に、社会は6.1 ポイント高くなっている。 理科については、理科支援員の配置事業を通して実験や観察を大切にした授業が進められた成果と考える。



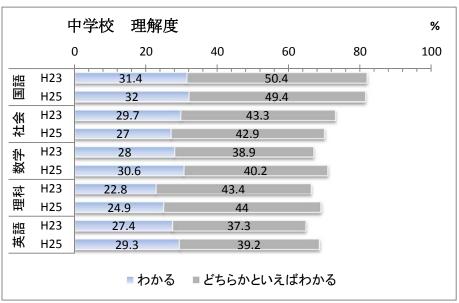
「わかる」「どちらかといえばわかる」と回答した児童は、国語 92.3%、社会 84.3%、算数 85.3%、理科 94.0%である。平成 23 年度と比較するとすべての教科等でポイントが高くなっている。また、「わかる」だけを見ると、社会は 7.5 ポイント、理科は 5.2 ポイント高くなっており、子どもたちにとってわかったと実感できる授業づくりが進んでいると考えられる。



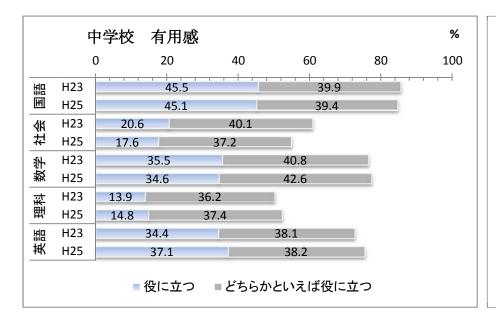
「役に立つ」「どちらかといえば役に立つ」と回答した児童は、国語91.6%、社会89.5%、算数95.1%、理科86.9%、総合84.4%である。平成23年度と比較するとすべての教科等でポイントが高くなっている。「役に立つ」だけでみると、平成23年度よりも、社会、理科、総合は4ポイント以上高くなっている。



「好き」「どちらかといえば好き」 と回答した生徒は、国語 60.9%、社 会 53.6%、数学 53.7%、理科 56.6%、 英語 56.1%という結果である。平成 23年度と比較すると数学、理科、 英語はポイントが高くなっている が、国語と社会科では低くなってい る。



「わかる」「どちらかといえばわかる」と回答した生徒は、国語 81.4%、社会 69.9%、数学 70.8%、理科 68.9%、英語 68.5%である。 平成 23 年度と比較すると、社会科が 3.1 ポイント低くなっている。また、8割を超えている教科は国語だけで、他の教科においては、約3割の生徒が「どちらかというとわからない」「わからない」と回答している。



「役に立つ」「どちらかといえば役に立つ」と回答した生徒は、国語84.5%、社会54.8%、数学77.2%、理科52.2%、英語75.3%である。平成23年度と比較すると、社会科が、5.9ポイント低くなっている。

今後とも小・中学校9年間において、それぞれの教科において、ねらいを明確にしたわかる授業、自分の生活とのつながりが実感できる授業づくりを進めていく必要がある。